

## Ⅱ 調布八雲苑

### 第1 総括

#### 1 安定的な施設運営と収支差額の確保

平成30年度の介護報酬は、平成29年度に実施された介護人材の処遇改善を目指したプラス改定に引き続き、2年連続となるプラス改定が実施される中での施設運営となった。平成30年度は、①地域包括ケアシステムの推進②自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現③多様な人材の確保と生産性の向上④介護サービスの適正化・重点化を通じた制度の安定性・持続可能性の確保の4点を目的とした介護報酬の改定（0.54%）が実施された。

平成30年度の収支差額は、特養部門とデイサービス部門の目標利用率の達成に力を注いだものの、さまざまな要因により平成29年度を下回る状況となった。

部門別にみると、特養部門では入所基準が平成29年度から原則として要介護3以上となったため、利用者の平均介護度は4.4（平成29年度は4.3）、平均年齢は89.7歳（同 88.9歳）と重度化、高齢化が進んでいる。それは、利用者の入退院増の一因ともなり、年度間を通じて平成29年度比で延べ114日の入院期間の増につながり、施設の収入減の大きな要因となった。また、入退所者が14人（同 10人）あり、入退所に伴う空白期間（利用者の退所から次の入所者が決まるまでの期間）も平成29年度に比べて増加することとなった。

また、通所介護事業では、平成29年度から介護予防・日常生活支援総合事業が始まったことや、利用者の自己負担額が収入等によって2割負担となる利用者があるなど、負担の増加による利用控えの影響等があったことから、新規利用者の獲得が従前よりも困難性を増しており、利用者一人当たりの利用日数も減少することとなった。

一方、入所者の健康管理の面では、インフルエンザやノロウイルス等の感染症防止のため、職員及び入所者の予防接種をはじめ、冬期間（11月～3月）においては、うがい、手洗いそして消毒薬使用の徹底を図り、それに加えて面会場所を1階のロビーに限定するなどの対策に取り組んだことで、発症や感染を抑えることができた。

ショートステイ部門では、目標利用率90%であったが月によって利用率が安定せず、特に平成31年3月には60%を割るなど事業の収支に大きな影響を及ぼす結果となった。調布八雲苑のショートステイは特養の併設型であり、実質的に一体的な運用が可能のため、ショートステイの特養部門への転換を視野に調布市との間で協議を行った。

通所介護事業においては、平成30年度の介護報酬改定で実質0.03%のマイナス改定となったことから、収支の安定化を図るべく、サービス時間の拡大、

食費等の適正化に着手した。また、認知症対応型通所介護事業においても、祝日運営の継続とサービス提供時間を最大8時間に拡大するなど家族の負担軽減につなげることで安定したサービスの提供を図ることができ、マイナス改定の影響も最小限に抑えることができた。

居宅介護支援事業については、繰り返される制度改正等の対応に注力し、一定のサービスに偏ることがないように、適正なサービス量の確認や集中減算の発生防止に留意しつつ、その人らしい暮らしが実現できるようマネジメントを行った。

地域包括支援センターにおいては、地域ケアシステムの推進に尽力するとともに、調布市との連携を密に図り、地域との連携やネットワーク作りができたが、その一方で、専門職の確保を含め、多岐にわたる相談等に対応するための体制作り等、課題を残した。

サテライト施設である神代の杜は、給食調理部門において、平成30年2月から直営化していることから、調布八雲苑の栄養士を兼務させることを基本に、相互協力体制をさらに進めていきたい。

## 2 利用者が安心できる施設環境の整備

調布八雲苑は、調布市内初の特別養護老人ホームとして開設してから31年目を迎えた。建物の躯体は堅牢ではあるものの、経年劣化による不具合が増え、給排水、空調、電気、厨房等の設備関係は定期点検を行うとともに必要な修繕を行ってきた。

また、平成15年から平成16年にかけて実施した大規模修繕工事からすでに約15年が経過し、その間に東日本大震災や集中豪雨による災害などで各地の福祉施設等でも被害が出ていることから、平成29年度に実施した際の建物設備調査報告書の調査結果概要によると、①給排水及び給湯配管では計画的な配管交換が必要、②屋上設備（高架水槽、消防用補給水槽等）の経年劣化が見られる、③高架水槽架台やキュービクル架台の金属部分の錆や腐食、④現在の空調システム導入（平成16年）から約15年が経過し、部品交換の高騰などに伴い、次期のシステム更新が必要なこと、などが指摘されている。

建物全体としては、新築当初の施工が丁寧ではあるものの、屋上をはじめ雨ざらしとなっている箇所の傷みや付帯設備の定期的な点検・設備更新が必要とのことである。今後とも予想される災害時において、利用者が安心して生活が出来る、各自に適したサービスを受けられることを基本に施設環境の整備に努めていくことが必要である。

## 3 人材の確保と職員の育成

人材確保の難しい社会情勢が続く中、引き続き法人本部と連携し、人材募集サイトやホームページ、新聞折り込み等で介護職、栄養士及び調理師の確保に努めた。特養では、利用者の重度化と高齢化が進み、従来的人员では適正な介護が困

難な事態も生じており、平成30年度は産休取得者が2人いたことから、派遣職員の最小限の活用を行い、利用者サービスの維持と職員の勤務ローテーションの円滑化を行った。

また、職員の定着状況は、配偶者の転勤や家庭事情などのやむを得ない理由での退職者はいたが、有期契約職員から内部正規職員への登用制度の活用を図るなど、正規職員の配置に努め、例年と同様な人員体制の維持を図ってきた。

また、職員の育成や資質の向上面においては、関係機関が主催する外部研修等必要な研修の受講を積極的に進めるとともに、研修で習得した内容については、職場内でフィードバックし、関係職員間で知識や情報の共有ができるよう努めた。

#### 4 地域や調布市との連携

平成30年度は春に相互防災応援協定に基づいて、八雲台自治会との合同防災訓練を実施し、秋には調布市との災害時における施設利用に関する協定に基づく、二次避難所訓練の延べ2回の訓練を実施した。内容としては、地域と実施した春の訓練は調布八雲苑における夜間の火災発生を想定した訓練であり、調布市と行った秋の訓練は、市内には29か所の二次避難所（福祉避難所）が設置されているが今まで訓練を行った実績がないため、市内で最初の特別養護老人ホームである調布八雲苑において実施させて欲しいとの調布市の強い要請を受け、市職員約20人、調布八雲苑職員10人の計約30人が参加し、市内で初の二次避難所（福祉避難所）開設訓練を行った。

また、恒例の夏まつりは、7月22日に実施し、利用者、その家族、また近隣の住民など300人近い方の参加があり、前年度に引き続き模擬店やゲームコーナーなどが好評であった。

その他、地域包括支援センターを中心に、地域ケア会議、介護教室、認知症サポーター養成講座の開催や調布ヶ丘地域福祉センターで実施された「わくわく広場」への参加など地域行事、地区協議会等に積極的に参加し、地域との連携、交流を図ってきた。また、平成30年には八雲台自治会が中心となって、調布八雲苑エリアに新しいサロン「めだかの学校」が誕生した。この会議にも職員は積極的に参加し、地域との連携を強めている。

## 第2 経営実績

### 1 目標値に対する実績

目標値に対する実績は、次のとおりである。

| 事業名                            | 目標値 | 平成30年度<br>実績 | 平成29年度<br>実績 |
|--------------------------------|-----|--------------|--------------|
| 介護老人福祉施設<br>(特別養護老人ホーム)<br>利用率 | 97  | 96.3         | 97.0         |

| 事業名                          |                   | 目標値    | 平成30年度<br>実績 | 平成29年度<br>実績 |
|------------------------------|-------------------|--------|--------------|--------------|
| 短期入所生活介護<br>(ショートステイ)<br>利用率 |                   | 90     | 78.8         | 79.9         |
| 通所<br>介護<br>事業               | 通常規模型通所介護<br>利用率  | 85     | 84.1         | 83.8         |
|                              | 認知症対応型通所介護<br>利用率 | 80     | 70.2         | 71.9         |
| 居宅介護支援事業<br>ケアプラン作成          |                   | 40件(月) | 43.8(件)      | 39.5(件)      |

### 第3 課別事業報告

#### 1 管理課

##### (1) 重点事項への取組

###### ア 経営の安定

収支の安定が課題となる中、全職員が更なるコスト意識を持って業務に取り組むよう、毎月開催する職員会議において、前月分の利用率や収支状況を報告している。

全職員が経営状況の情報共有を行うことで、経営目標達成に意欲を高めるとともに、収支差額の更なる確保に向けた取り組みを行った。

また、平成31年度を見据えてショートステイ事業(4床)の特養への転換について、調布市と協議を実施した。調布市は、ショートステイにおいて調布八雲苑を希望する市民の存在等の理由で、4床全ての特養転換には難色を示しており、転換する床数についてさらに協議を進めたい。また、東京都は原則として地元自治体の同意があれば拒否はしない、との方向性が確認できたことから、調布市とさらに具体的な協議を進めたい。

###### イ 人材の確保と定着

職員の欠員等により、利用者サービスの低下を招かないよう、各種学校、ハローワーク・ホームページ、ナースバンク、就職相談会さらに新聞折り込みチラシ等を活用して人材の確保に努めた。

その結果、職員を採用することができたが、産休を取得した職員2人の代替として派遣職員を活用して利用者サービスの維持向上に努めた。引き続き職員の働きやすい職場環境作りを行い、必要に応じて有期契約職員等を活用しながら、職員体制の確保に一層の努力を図っていく。

また、職員が心身ともに安心して仕事に取り組める環境づくりの一環として、全職員を対象にストレスチェックを実施した。

平成30年度の正規職員の退職者は、2人(管理栄養士、介護職員各1人)採用は2人(介護職員、調理師各1人)であった。

#### ウ 各種対策委員会の実施と施設内研修の充実

安全衛生委員会（11回）、感染症等対策委員会（4回）や事故防止対策委員会（4回）を実施した。また、年間の施設内研修計画を立て各委員会主催の研修会を6回、各課主催の研修を2回、合計8回実施することができた。

内容については、①虐待防止研修②災害時に予想される感染症について③食物アレルギーの基礎知識④リスクマネジメントの基礎⑤身体拘束・行動制限を行わないための認知症ケア（基礎編）⑥腰痛予防ピラティス⑦身体拘束・行動制限を行わないための認知症ケア（実践編）⑧医療ニーズを見逃さないケアを学ぶ、である。

特に、インフルエンザ等の感染症が流行する中、細心の注意を払い11月から3月末までは、面会を1階ロビーで行うことにより、施設内におけるインフルエンザの感染を避けることができた。

#### エ 神代の杜との連携

開設して6年が経過した神代の杜は、調布八雲苑のサテライト型の施設であることから、様々な分野で連携・協力して業務を行うとともに、栄養士の兼務等により円滑な事業の実施と経営の安定化に向け、本体施設としての役割を果たした。

また、介護職員の欠員等には相互に応援体制が取れるよう、引き続き協力していく。

#### オ 給食の状況

平成30年秋季に委託事業者との打ち合わせをした際、平成31年度からの委託経費の値上げが見込まれるとの情報があり、経費縮減及び更なる利用者サービスの向上を目的として、平成31年度からの給食調理業務の直営化に向けて準備を始めた。直営化に向けて調理師や調理補助員採用の準備中に、委託業者の都合により平成31年2月末で委託業者が撤退し、3月から直営化がスタートすることとなった。

特養の利用者においては毎月のカンファレンス等含め、一人ひとりに細やかな食事提供の対応に努めた。給食の主な状況は次のとおりである。

(ア) 食種の割合は、主食ではご飯10%、柔らかご飯21.7%、お粥60%、ミキサー粥8.3%、副食では、常食13%、粗刻み5%、刻み33%、極刻み37%、ミキサー12%となり、極刻み食の増加が目立った。

検食日誌の内容や給食委員会が出された意見に対し、給食委託業者や各職種と連携をとり、改善に努めた。また、季節感や旬の物を取り入れ、利用者に喜んで召し上がっていただけるような行事食を提供した。今後も安全で美味しい食事の提供を目標に、多職種で協力していく必要がある。

- (イ) リクエストメニュー8回・バイキング4回・行事食18回・ホーム喫茶6回を実施し、食事を楽しんでもらうようにした。
- (ロ) デイサービスの利用者には、年間の行事予定に沿って職員と相談しながら、行事に合った食事やおやつを提供した。
- (エ) 利用者の声や検食時の意見、感想、味のチェックなど、その日の献立に対して委託会社と話し合い、調理に反映するよう努めた。
- (オ) 栄養ケアマネジメントは、毎月の体重測定結果と摂食状況等を看護職員・ケアマネージャー・介護職員・栄養士がカンファレンスを行い、利用者の日々の変化に対応しながら進めた。

カ 特養（介護老人福祉施設。以下同じ。）利用者食数

| 月 | 朝食    | 昼食    | 夕食    | 月  | 朝食     | 昼食     | 夕食     |
|---|-------|-------|-------|----|--------|--------|--------|
| 4 | 1,750 | 1,750 | 1,752 | 10 | 1,720  | 1,717  | 1,725  |
| 5 | 1,833 | 1,833 | 1,834 | 11 | 1,742  | 1,745  | 1,743  |
| 6 | 1,785 | 1,786 | 1,787 | 12 | 1,738  | 1,738  | 1,737  |
| 7 | 1,840 | 1,836 | 1,841 | 1  | 1,722  | 1,727  | 1,728  |
| 8 | 1,799 | 1,802 | 1,798 | 2  | 1,632  | 1,633  | 1,636  |
| 9 | 1,665 | 1,669 | 1,667 | 3  | 1,819  | 1,816  | 1,819  |
|   |       |       |       | 計  | 21,045 | 21,052 | 21,067 |

キ ショート（短期入所生活介護。以下同じ。）利用者食数

| 月 | 朝食 | 昼食 | 夕食 | 月  | 朝食  | 昼食  | 夕食  |
|---|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 4 | 88 | 78 | 86 | 10 | 82  | 72  | 82  |
| 5 | 92 | 82 | 91 | 11 | 87  | 77  | 87  |
| 6 | 80 | 70 | 81 | 12 | 89  | 79  | 88  |
| 7 | 92 | 86 | 93 | 1  | 67  | 61  | 67  |
| 8 | 93 | 83 | 91 | 2  | 67  | 60  | 68  |
| 9 | 84 | 79 | 86 | 3  | 63  | 54  | 64  |
|   |    |    |    | 計  | 984 | 881 | 984 |

ク 行事食献立一覧（特＝特養、シ＝ショート、デ＝デイサービス）

| 月日   | 行事名       | 課名    | 献立内容                        |
|------|-----------|-------|-----------------------------|
| 4月4日 | リクエストメニュー | 特・シ・デ | 山菜ご飯、魚の味噌漬け焼、薩摩芋煮、ごま酢和え     |
| 12日  | リクエストメニュー | 特・シ・デ | 江戸散らし、筑前煮、うぐいす豆、澄まし汁        |
| 5月5日 | こどもの日     | 特・シ   | いなり寿司、やわらかチキン、若竹煮、そうめん汁     |
| 17日  | ホーム喫茶     | 特・シ   | ショートケーキ、ティラミスケーキ、くず桜他、飲み物三種 |

| 月日   | 行事名  | 課名   | 献立内容  |
|--|--|--|---|
| 6月 13日<br>28日                                | リクエストメニュー<br>バイクンク                               | 特・シ・デ<br>特・シ                               | 紫陽花ご飯、魚の葱ソース、芋茎の煮物、春雨酢の物<br>おやつバイキング(ケーキ3種、水羊羹、くず饅頭他)   |
| 7月 7日<br>19日<br>20日<br>22日                   | 七夕<br>ホーム喫茶<br>土用の丑<br>夏祭り                       | 特・シ・デ<br>特・シ<br>特・シ・デ<br>特・シ               | 七夕そうめん、天ぷら、卵豆腐、みかん缶<br>チーズケーキ、苺のロールケーキ、白桃あんみつ、飲み物三種<br>うな井、京風揚げ煮、柚子醤油和え、吉野汁<br>黒焼きそば、豚汁、たこ焼き、ポテトフライ他                            |
| 8月 18日<br>8月 29日                             | リクエストメニュー<br>バイクンク                               | 特・シ・デ<br>特・シ                               | 夏野菜カレー、キャベツのかに巻き、ゼリー<br>焼きそば、ラーメン、山菜そば、スパゲティ他   |
| 9月 10~12日<br>16日<br>20日<br>22日<br>24日<br>27日 | 敬老週間<br>敬老祝い<br>お彼岸<br>リクエストメニュー<br>十五夜<br>ホーム喫茶 | デ<br>特・シ<br>特・シ・デ<br>特・シ・デ<br>特・シ・デ<br>特・シ | 松花堂弁当、巨峰、味噌汁<br>赤飯、お刺身、天ぷら、炊き合わせ、ねりきり他<br>おやつにやわらかおはぎ(ミニおはぎ)<br>コロケ、れんこんの炒め煮、ゆず醤油和え<br>おやつに月見ゼリー<br>抹茶ケーキ、苺チョコレート、栗のあんみつ他、飲み物3種 |
| 10月 1日<br>19日<br>24日                         | リクエストメニュー<br>リクエストメニュー<br>バイクンク                  | 特・シ・デ<br>特・シ・デ<br>特・シ                      | 栗ご飯、豆腐の五目あんかけ、小松菜海苔和え他<br>さつま芋ご飯、肉豆腐、人参のたらこ炒め、ナムル<br>手まり寿司、刺身、茶碗蒸し、お茶福豆、柿   |
| 11月 15日                                      | ホーム喫茶  | 特・シ  | 2種チーズケーキ、苺ショコラス、生どら他、飲み物三種  |
| 12月 2日<br>25日<br>26・27・28日<br>31日            | 餅つき<br>クリスマスメニュー<br>餅つき週間<br>年越し                 | 特・シ<br>特・シ・デ<br>デ<br>特・シ                   | あんこ餅、からみ餅<br>ピラフ、キノコ照り焼き、サラダ、コンソブ<br>あんこ餅、からみ餅、漬物<br>年越しそば、天ぷら、蕪の酢の物、みかん  |
| 1月 1日<br>4・5・7日<br>7日<br>17日<br>25日          | 元旦<br>お正月週間<br>七草<br>ホーム喫茶<br>リクエストメニュー          | 特・シ<br>デ<br>特・シ・デ<br>特・シ<br>特・シ・デ          | 赤飯、おせち料理、雑煮、5点盛り、生菓子、甘酒<br>松花堂弁当、澄まし汁、果物、おやつに甘酒<br>七草粥、えびしゅうまい、豆腐のくず煮、漬物<br>チョコレートケーキ、フルーツケーキ、2色大福他、飲み物三種<br>たぬきうどん、味噌煮、白和え、みかん |
| 2月 3日<br>28日                                 | 節分<br>バイクンク                                      | 特・シ<br>特・シ                                 | 散らし寿司、大豆とひじきの煮物、鯛つみれ汁他<br>お刺身、手まり寿司、いなり、巻寿司、他   |
| 3月 3日<br>28日<br>28~30日                       | ひな祭り<br>ホーム喫茶<br>修了式                             | 特・シ・デ<br>特・シ<br>デ                          | 桜寿司、鯖の菜種焼き、澄まし汁、果物<br>苺ショートケーキ、栗どら焼き、苺杏仁、飲み物2種<br>松花堂弁当、味噌汁、苺、おやつにケーキ   |

#### ケ 施設設備等の保守点検

開設して31年を迎えた施設であることから、施設設備の更新や修繕が頻発している。利用者が安全に安心して生活できる環境を維持するために、定期的に保守点検を行っているが、点検等で指摘のあった個所については、必要な修繕等を行った。

平成30年度は、調理室の照明器具の改修に合わせたLED化及びエアコンの室外機修繕、さらに食堂エアコンの修繕や施設全体の手摺の修繕などを

実施し、利用者の日常生活の安全性確保や快適性の向上に努めた。

また、施設の経年劣化に伴う各所の修繕に対応しつつ、平成30年度は屋上防水工事の見積もりを5社から取得し、その内容について精査・検討を行った。施設全体の空調についても経年劣化が進んでいることから、大規模修繕等について検討をする必要がある。

## (2) 実績報告

### ア 研修体系

体系別の研修状況は、次のとおりである。

なお、内容欄の数字は、「イ 研修の状況」の「No」を表している。

| 体系                |                      | 内 容                                | 回数 |
|-------------------|----------------------|------------------------------------|----|
| 一般研修              | 新任職員研修               | 7, 11, 22                          | 3  |
|                   | 現任職員研修               | 12, 13, 20, 29, 31, 40, 41         | 7  |
|                   | 副主任研修                |                                    | 0  |
|                   | 主任研修                 | 39                                 | 1  |
|                   | 課長研修                 | 42                                 | 1  |
|                   | 施設長研修                | 14, 16, 19, 27, 30, 34, 35, 36, 44 | 9  |
| 専門研修              | 看護師研修                |                                    | 0  |
|                   | 栄養士研修                | 2, 5, 6                            | 3  |
|                   | 介護職員研修               | 17, 24, 26, 28, 38, 48             | 6  |
|                   | 機能訓練指導員研修            |                                    | 0  |
|                   | 地域包括職員研修             | 8, 15                              | 2  |
|                   | 介護支援専門員研修            | 1, 4, 10, 33, 43, 46, 47, 49       | 8  |
|                   | 生活相談員研修              |                                    | 0  |
|                   | 事務職研修                | 23                                 | 1  |
| 特別研修              | 18, 21, 50           | 3                                  |    |
| 派遣研修              | 25, 37, 51           | 3                                  |    |
| 職場研修              | 3, 9, 32, 45, 52, 53 | 6                                  |    |
| 自己研修              |                      | 0                                  |    |
| 外部研修参加及び施設内研修開催合計 |                      |                                    | 53 |

### イ 研修の状況

研修参加者は200人、延べ参加人数は230人であった。

(単位：人)

| No. | 月 日   | 内 容            | 主 催 | 人数 | 延べ |
|-----|---|----------------|-----|----|----|
| 1   | 5/1・9・<br>14・17・<br>20・24・<br>31<br>6/4・<br>11・14・<br>21・<br>7/4・6・<br>12・16・<br>21・26・<br>27 | 東京都介護支援専門員実務研修 | 東京都 | 1  | 19 |

| No. | 月 日   | 内 容                                      | 主 催               | 人数 | 延べ |
|-----|---|--|-------------------|----|----|
| 2   | 6/1・2   | 人間ドック健診情報管理指導士研修会                        | (公社) 日本人間ドック学会    | 1  | 2  |
| 3   | 6/1・13  | 施設内研修「虐待研修」                              | 事故防止対策委員会         | 44 | 44 |
| 4   | 6/4・<br>12・25・<br>7/19・<br>24・<br>8/6・<br>27・<br>9/3・13 | 東京都介護支援専門員専門研修課程 I                       | (公財) 総合健康推進財団     | 1  | 10 |
| 5   | 7/3   | 多摩府中給食施設協議会見学会                           | 多摩府中給食施設協議会       | 2  | 2  |
| 6   | 7/10  | 住まい×介護×医療展 2018in 東京                     | (株) 高齢者在宅新聞社      | 1  | 1  |
| 7   | 7/19・20   | キャリアパス対応生涯研修課程 《福祉職員職務階層別研修》初任者研修 既卒者コース | 東社協 東京都福祉人材センター   | 1  | 2  |
| 8   | 7/20  | 東京都認知症多職種協働研修講師養成研修                      | 東京都               | 1  | 1  |
| 9   | 7/26  | 施設内研修「災害時に予想される感染症について」                  | 感染症対策委員会          | 18 | 18 |
| 10  | 7/25・<br>8/4・<br>10・24・<br>30・9/10                      | 東京都介護支援専門員専門研修課程 II                      | 東京都介護支援専門員研究協議会   | 1  | 1  |
| 11  | 8/1・2   | キャリアパス対応生涯研修課程 《福祉職員職務階層別研修》初任者研修 新卒者コース | 東社協 東京都福祉人材センター   | 1  | 2  |
| 12  | 8/3   | 高齢者福祉施設における“トラブル対応”について学ぶ研修会             | 東社協 東京都高齢者福祉施設協議会 | 2  | 2  |
| 13  | 8/22  | 高齢者虐待防止研修                                | (公財) 東京都福祉保健財団    | 2  | 2  |
| 14  | 8/23  | 介護サービス事業者支援研修会                           | 東京都国民健康保険団体連合会    | 1  | 1  |
| 15  | 8/24  | 東京都認知症地域対応力向上研修                          | 東京都               | 1  | 1  |
| 16  | 8/31  | 介護サービス事業における苦情対応                         | (公財) 介護労働安定センター   | 1  | 1  |
| 17  | 9/10  | 移乗介助に関する研修会<br>～場面に応じた重度者へのトランス方法を学ぶ～    | 東社協 東京都高齢者福祉施設協議会 | 2  | 2  |
| 18  | 9/22・23   | 全国抑制廃止研究会第20回記念大会 inぐんま                  | (公財) 脳血管研究所、他     | 1  | 2  |
| 19  | 9/18  | 「施設長としての悩みや困りごとについて語り合う」                 | 東社協 東京都高齢者福祉施設協議会 | 1  | 1  |
| 20  | 10/3  | 社会福祉事業従事者人権研修【I】                         | 東京都               | 2  | 2  |

| No. | 月 日                             | 内 容                              | 主 催               | 人数 | 延べ |
|-----|---------------------------------|----------------------------------|-------------------|----|----|
| 21  | 10/3                            | 障害者雇用促進セミナー                      | 多摩地区ハローワーク        | 1  | 1  |
| 22  | 10/26                           | 東京都認知症介護基礎研修                     | 東京都               | 2  | 2  |
| 23  | 11/1                            | 第2回社会福祉法人コンベンション                 | 日本公認会計士協会         | 2  | 2  |
| 24  | 11/5・<br>6・19                   | 介護職員スキルアップ研修                     | 東社協 東京都福祉人材センター   | 1  | 3  |
| 25  | 11/20                           | 施設内研修「食物アレルギーの基礎知識」              | 施設内研修（管理課）        | 13 | 13 |
| 26  | 11/21                           | 利用者のニーズを考える研修会                   | 東社協 東京都高齢者福祉施設協議会 | 1  | 1  |
| 27  | 11/28                           | 人が集まり、元気に働く、施設の工夫とキャリアパス研修会      | 東社協 東京都高齢者福祉施設協議会 | 1  | 1  |
| 28  | 11/28・<br>12/4・20               | 介護職員スキルアップ研修                     | 東社協 東京都福祉人材センター   | 1  | 3  |
| 29  | 11/30                           | 介護報酬請求事務に関する研修会（応用編）             | 東社協 東京都高齢者福祉施設協議会 | 1  | 1  |
| 30  | 12/3                            | 採用担当者セミナー                        | 東社協 東京都福祉人材センター   | 1  | 1  |
| 31  | 12/11・<br>12                    | 中堅職員重点テーマ強化研修                    | 東社協 東京都福祉人材センター   | 1  | 2  |
| 32  | 12/13～<br>20                    | 施設内研修「感染症予防手洗い研修」                | 感染症対策委員会          | 46 | 46 |
| 33  | 1/8・<br>25・28・<br>2/6・<br>15・21 | 東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ                | 東京都介護支援専門員研究協議会   | 1  | 6  |
| 34  | 1/11                            | 介護事業所における労災事故対策                  | （公財）介護労働安定センター    | 1  | 1  |
| 35  | 1/15                            | 高齢者虐待防止研修                        | （公財）東京都福祉保健財団     | 1  | 1  |
| 36  | 1/21                            | 新入職員定着・育成セミナー「福祉職場におけるコミュニケーション」 | 東社協 東京都福祉人材センター   | 1  | 1  |
| 37  | 1/23                            | 施設内研修「リスクマネジメントの基礎」              | 事故防止対策委員会         | 18 | 18 |
| 38  | 1/23                            | 利用者のニーズを考える研修会                   | 東社協 東京都高齢者福祉施設協議会 | 1  | 1  |
| 39  | 1/24・<br>25・<br>2/5・6・<br>7・27  | 東京都認知症介護実践者研修                    | 東京都               | 1  | 6  |

| No.                       | 月 日  | 内 容                                      | 主 催               | 人数 | 延べ |
|---------------------------|------|--|-------------------|----|----|
| 40                        | 2/13 | 平成31年度処遇改善加算の概要、取得に必要な要件の解説とその準備について     | (公財) 介護労働安定センター   | 2  | 2  |
| 41                        | 2/15 | レジオネラ対策等講習会                              | 東京都多摩府中保健所        | 2  | 2  |
| 42                        | 2/20 | 指定更新事業者研修会                               | (公財) 東京都福祉保健財団    | 1  | 1  |
| 43                        | 2/25 | 介護支援専門員研修<br>「リ・アセスメント支援シートを活用したケアプラン作成」 | 調布市               | 1  | 1  |
| 44                        | 2/28 | 新入職員定着・育成セミナー「福祉職場における働き方改革と人事管理」        | 東社協 東京都福祉人材センター   | 1  | 1  |
| 45                        | 3/8  | 施設内研修「身体拘束・行動制限を行わないための認知症ケア（基礎編）」       | 身体拘束廃止委員会         | 39 | 39 |
| 46                        | 3/11 | 介護支援専門員研修<br>「リ・アセスメント支援シートを活用したケアプラン作成」 | 調布市               | 1  | 1  |
| 47                        | 3/12 | 東京都認定調査員新規研修                             | 東京都               | 1  | 1  |
| 48                        | 3/13 | 利用者のニーズを考える研修会                           | 東社協 東京都高齢者福祉施設協議会 | 1  | 1  |
| 49                        | 3/18 | 介護支援専門員研修<br>「リ・アセスメント支援シートを活用したケアプラン作成」 | 調布市               | 1  | 1  |
| 50                        | 3/20 | 次世代介護機器の活用支援事業研修                         | (公財) 東京都福祉保健財団    | 1  | 1  |
| 51                        | 3/22 | 施設内研修「腰痛予防ピラティス」                         | 安全衛生委員会           | 17 | 17 |
| 52                        | 3/22 | 施設内研修「身体拘束・行動制限を行わないための認知症ケア（実践編）」       | 身体拘束廃止委員会         | 28 | 28 |
| 53                        | 3/29 | 施設内研修「医療ニーズを見逃さないケアを学ぶ」                  | 福祉課               | 25 | 25 |
| 研修参加人数合計301人、述べ参加人数合計347人 |      |  |                   |    |    |

#### ウ ボランティア等の状況

年間の活動延べ人数は2,513人で、平成29年度の2,274人に比べ239人増加であった。ボランティアの高齢化が進むとともに、活動日数が制限される傾向はみられるが、新規ボランティアの問い合わせも多く、体験・登録に繋がっていることから、引き続きPRに努めたい。

また、通常の事業補助のボランティアだけではなく、特別支援学校との交流や外部からのボランティアの方々と触れ合う機会が多い一年であった。

(単位：人)

| 活動団体・内容等   |           | 活動先   |     |      | 延べ人数  |
|------------|-----------|-------|-----|------|-------|
|            |           | 特養    | デイ  | 施設全体 |       |
| クラブ・技術指導等  | 手 芸       | 41    | 0   | 0    | 41    |
|            | 書 道       | 45    | 97  | 0    | 142   |
|            | 編み物の会     | 0     | 48  | 0    | 48    |
|            | 籐細工       | 0     | 101 | 0    | 101   |
|            | 草細工       | 0     | 94  | 0    | 94    |
|            | 陶 芸       | 0     | 48  | 0    | 48    |
|            | 絵 画       | 0     | 0   | 0    | 0     |
| 全般・諸活動     | リネン類整理    | 1,115 | 0   | 0    | 1,115 |
|            | 傾聴        | 3     | 0   | 0    | 3     |
|            | 歌・朗読・紙芝居  | 62    | 28  | 0    | 90    |
|            | 鍼灸・マッサージ  | 0     | 0   | 0    | 0     |
|            | ダンス・リズム体操 | 33    | 0   | 0    | 33    |
|            | 諸活動補助等    | 47    | 464 | 0    | 511   |
|            | 音楽・演奏     | 24    | 11  | 0    | 35    |
|            | 調布市立柏野小学校 | 0     | 0   | 20   | 20    |
| 美 中<br>化 庭 | 中庭草取り     | 0     | 0   | 53   | 53    |
| 行事等        | 夏まつり      | 0     | 0   | 25   | 25    |
|            | ホーム喫茶     | 24    | 8   | 0    | 32    |
|            | その他行事     | 109   | 13  | 0    | 122   |
| 合 計        |           | 1,503 | 912 | 98   | 2,513 |

## エ 実習生の受け入れ状況

年間の受け入れ延べ人数は360人で、平成29年度の337人に比べ27人増加した。

(単位：人)

| 学 校 人 等         | 目 的            | 実 習 先 |    |    | 延 べ<br>実 習 者 数 |
|-----------------|----------------|-------|----|----|----------------|
|                 |                | 特養    | デイ | 支援 |                |
| 多摩職業能力開発センター府中校 | 実務者研修資格取得      | 5     | 5  | 0  | 10             |
| 白梅学園大学子ども学部     | 介護実習           | 20    | 0  | 0  | 20             |
| 杏林大学医学部附属看護専門学校 | 在宅看護論実習・老年看護実習 | 30    | 32 | 11 | 73             |
| 杏林大学保健学部看護学科    | 公衆衛生・看護学実習     | 0     | 0  | 2  | 2              |
| 慈恵第三看護専門学校      | 在宅看護論実習        | 0     | 0  | 2  | 2              |

| 学 校 人 等         | 目 的        | 実 習 先 |     |    | 延 べ<br>実習者数 |
|-----------------|------------|-------|-----|----|-------------|
|                 |            | 特養    | デイ  | 支援 |             |
| 日本福祉教育専門学校      | 介護実習       | 25    | 0   | 0  | 25          |
| 京王バス株式会社        | 体験研修       | 0     | 12  | 0  | 12          |
| 東京都社会福祉協議会介護等体験 | 体験研修（教員免許） | 75    | 125 | 0  | 200         |
| 調布市立神代中学校       | 職場体験       | 10    | 0   | 0  | 10          |
| 少年友の会           | 職場体験       | 6     | 0   | 0  | 6           |
| 実習生合計           |            |       |     |    | 360         |

## 2 福祉課

### (1) 重点事項への取組

#### ア 利用者の重度化に対応したケアの推進

平成30年度上期は、退所者3人であった。下期は退所者11人で入院や入院先での死亡により、平成30年度は計14人の退所者であった。

また、利用者の平均要介護度は4.4であり、利用者の日常的な医療管理と生活施設としての機能を兼ね備えた介護保険施設であることが、ますます重要になっている。利用者の重度化の傾向は変わらない状況の中で、ケア会議や研修報告会を開催し、専門医師・介護職員・看護職員・機能訓練指導員・管理栄養士等が連携を進めながら得られた知識の共有を図った。

インフルエンザなどの感染症対策には流行前から、家族・実習生・ボランティア等に周辺地域の感染情報を提供した。11月から3月は面会の場所をロビーにするなど感染症対策を行うことができ、その結果利用者へのインフルエンザ感染を防止することができた。

#### イ 介護と医療との連携、緊急時の対応及び看取りケアの実践

平成30年度の新規利用者14人のうち、90歳以上の利用者が8人おり、この方々の入居により施設全体の利用者の平均要介護度は4.4となり高齢化と重度化が続いている。通院や入退院時の個別相談や、特養家族会の場を活用し、「救急車・救急搬送に伴う延命処置の承諾書（お願い）」を引き続き行った。なお、看取りケアは行わなかった。

#### ウ 施設内研修の充実と人材育成

利用者の尊厳を守る取り組みを施設内全体研修として実施した。「その人らしさ」を大切にしたいケアを目指して「虐待とは何か」「どう取り組めば虐待を防げるのか」を具体的に学んだ。

(2) 実績報告（特養定員60人、ショート定員4人）

ア 年齢状況（特別養護老人ホーム）

入居者の平均年齢は89.7歳であり、平成29年度と比較して0.8歳上昇した。

平成31年3月31日現在（単位：人）

|         | 年齢別       | 男    | 女    | 計    | 構成比 (%) |
|---------|-----------|------|------|------|---------|
| 1       | 65歳未満     | 0    | 0    | 0    | 0       |
| 2       | 65～70歳未満  | 0    | 2    | 2    | 3.4     |
| 3       | 70～75歳未満  | 0    | 0    | 0    | 0       |
| 4       | 75～80歳未満  | 2    | 1    | 3    | 5.1     |
| 5       | 80～85歳未満  | 4    | 5    | 9    | 15.3    |
| 6       | 85～90歳未満  | 2    | 15   | 17   | 27.2    |
| 7       | 90～95歳未満  | 1    | 14   | 15   | 25.2    |
| 8       | 95～100歳未満 | 0    | 10   | 10   | 17.0    |
| 9       | 100歳以上    | 0    | 4    | 4    | 6.8     |
| 合 計     |           | 9    | 51   | 60   | 100.0   |
| 最高年齢（歳） |           | 92   | 103  | —    | —       |
| 最低年齢（歳） |           | 75   | 65   | —    | —       |
| 平均年齢（歳） |           | 83.6 | 90.2 | 89.7 | —       |

イ 在籍期間（特別養護老人ホーム）

新規入居者は14人で、1年未満から～3年未満の利用者が平成29年度と比較して3.9ポイント上昇し、3～5年未満の層が7.6ポイント減少した。また、5～10年未満の層は9.8ポイント上昇し、10年以上の層は1.7ポイント上昇した。

平成31年3月31日現在（単位：人）

|     | 期 間     | 男 | 女  | 計  | 構成比 (%) |
|-----|---------|---|----|----|---------|
| 1   | 1年未満    | 1 | 12 | 13 | 17.0    |
| 2   | 1～3年未満  | 2 | 10 | 12 | 28.8    |
| 3   | 3～5年未満  | 1 | 16 | 17 | 35.5    |
| 4   | 5～10年未満 | 4 | 9  | 13 | 11.9    |
| 5   | 10年以上   | 1 | 4  | 5  | 6.8     |
| 合 計 |         | 9 | 51 | 60 | 100.0   |

ウ 退所状況（特別養護老人ホーム）

退所者は、年間で14人であった。内訳は、下表のとおりである。

|    | 性別 | 年齢   | 退所月 | 保険者 | 退所理由   | 在籍期間    | 要介護 |
|----|----|------|-----|-----|--------|---------|-----|
| 1  | 女  | 96   | 4月  | 調布市 | 長期入院加療 | 4か月     | 4   |
| 2  | 女  | 83   | 4月  | 調布市 | 長期入院加療 | 4年 4か月  | 5   |
| 3  | 女  | 88   | 9月  | 調布市 | 長期入院加療 | 4年 3か月  | 5   |
| 4  | 女  | 89   | 10月 | 調布市 | 長期入院加療 | 3年 5か月  | 5   |
| 5  | 女  | 88   | 10月 | 調布市 | 長期入院加療 | 3年11か月  | 5   |
| 6  | 女  | 85   | 12月 | 調布市 | 長期入院加療 | 7年 8か月  | 5   |
| 7  | 女  | 78   | 12月 | 調布市 | 入院先で死亡 | 10年 7か月 | 5   |
| 8  | 女  | 85   | 12月 | 調布市 | 入院先で死亡 | 1年 5か月  | 4   |
| 9  | 女  | 99   | 12月 | 調布市 | 長期入院加療 | 4年 5か月  | 4   |
| 10 | 女  | 97   | 2月  | 調布市 | 長期入院加療 | 9年      | 5   |
| 11 | 女  | 93   | 2月  | 調布市 | 長期入院加療 | 2年 2か月  | 5   |
| 12 | 女  | 94   | 2月  | 調布市 | 長期入院加療 | 2年 8か月  | 3   |
| 13 | 女  | 95   | 2月  | 調布市 | 長期入院加療 | 3年 4か月  | 5   |
| 14 | 女  | 83   | 3月  | 調布市 | 長期入院加療 | 1か月     | 4   |
| 平均 |    | 89.5 | —   | —   |        | 3年 8か月  | 4.6 |

エ 月別要介護度分布表（特別養護老人ホーム）

平成29年度と比較し、要介護3の利用者の介護度が上昇し、要介護4の利用者が1.3ポイント上昇している。要介護4、5の利用者が全体の93.6%で利用者の重度化が進んでいる。

(単位：人)

| 月       | 介護1 | 介護2 | 介護3 | 介護4  | 介護5  | 平均介護度 |
|---------|-----|-----|-----|------|------|-------|
| 4       | 0   | 0   | 6   | 24   | 30   | 4.3   |
| 5       | 0   | 0   | 6   | 24   | 30   | 4.4   |
| 6       | 0   | 0   | 5   | 25   | 30   | 4.4   |
| 7       | 0   | 0   | 5   | 25   | 30   | 4.4   |
| 8       | 0   | 0   | 4   | 25   | 31   | 4.5   |
| 9       | 0   | 0   | 4   | 22   | 34   | 4.5   |
| 10      | 0   | 0   | 4   | 24   | 32   | 4.5   |
| 11      | 0   | 0   | 3   | 24   | 33   | 4.5   |
| 12      | 0   | 0   | 3   | 26   | 31   | 4.5   |
| 1       | 0   | 0   | 3   | 28   | 29   | 4.4   |
| 2       | 0   | 0   | 2   | 31   | 27   | 4.4   |
| 3       | 0   | 0   | 1   | 30   | 29   | 4.5   |
| 構成比 (%) | 0   | 0   | 6.4 | 42.8 | 50.8 | -     |
| 平均      | 0   | 0   | 3.8 | 25.7 | 30.5 | 4.4   |

オ 月別利用実績（特別養護老人ホーム）

年間の平均利用率は96.3%となり平成29年度に比べ0.7ポイント減少し目標利用率は達成できなかった。平成29年度の退所者は10人であったが、平成30年度の退所者は14人であり、空所期間の短縮に努めた。

（単位：日）

| 月  | 延べ利用日数 | 延べ利用可能日数 | 利用率（%） |
|----|--------|----------|--------|
| 4  | 1,752  | 1,800    | 97.3   |
| 5  | 1,835  | 1,860    | 98.7   |
| 6  | 1,786  | 1,800    | 99.2   |
| 7  | 1,824  | 1,860    | 98.1   |
| 8  | 1,803  | 1,860    | 96.9   |
| 9  | 1,679  | 1,800    | 93.3   |
| 10 | 1,715  | 1,860    | 92.9   |
| 11 | 1,746  | 1,800    | 97.0   |
| 12 | 1,744  | 1,860    | 93.8   |
| 1  | 1,727  | 1,860    | 92.8   |
| 2  | 1,635  | 1,680    | 97.3   |
| 3  | 1,833  | 1,860    | 98.5   |
| 合計 | 21,079 | 21,840   | —      |
| 平均 | 1,757  | 1,820    | 96.3   |

カ 短期入所生活介護（ショートステイ）月別利用実績

ショートの利用率については、目標の90%を達成することができなかった。利用者の施設入所が続き、後半の利用率が伸びなかった。

（特養の空室利用を含む。）

| 月  | 利用実人数<br>（人） | 利用延人数<br>（人） | 利用日数<br>（日） | 稼働日数<br>（日） | 毎月の利用率<br>（%） |
|----|--------------|--------------|-------------|-------------|---------------|
| 4  | 13           | 19           | 102         | 120         | 84.2          |
| 5  | 11           | 16           | 106         | 124         | 85.5          |
| 6  | 12           | 18           | 97          | 120         | 80.8          |
| 7  | 12           | 16           | 107         | 124         | 86.3          |
| 8  | 14           | 18           | 109         | 124         | 87.9          |
| 9  | 13           | 17           | 101         | 120         | 84.2          |
| 10 | 12           | 16           | 96          | 124         | 77.4          |
| 11 | 13           | 18           | 104         | 120         | 86.7          |
| 12 | 10           | 16           | 103         | 124         | 83.1          |
| 1  | 9            | 11           | 75          | 124         | 60.5          |
| 2  | 8            | 12           | 78          | 112         | 69.6          |
| 3  | 9            | 13           | 74          | 124         | 59.7          |
| 合計 | 136          | 190          | 1152        | 1,460       | —             |
| 平均 | 11.3         | 15.8         | 96          | 121.6       | 78.8          |

キ 短期入所生活介護（ショートステイ）月別要介護度分布表

平均介護度が3.0から3.2と今年度も上昇している。要介護1及び2の利用者数は変化なかったが、要介護3の利用者が2.2ポイント減少、要介護4の利用者が4.4ポイント減少し、要介護5の利用者は21.9%と8.9ポイントも上昇しており、利用者の重度化が進んでいる。

(単位：人)

| 月       | 要支援<br>1 | 要支援<br>2 | 介護<br>1 | 介護<br>2 | 介護<br>3 | 介護<br>4 | 介護<br>5 | 平均介護度 |
|---------|----------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 4       | 0        | 0        | 16      | 7       | 26      | 36      | 17      | 3.3   |
| 5       | 0        | 0        | 19      | 12      | 27      | 31      | 17      | 3.1   |
| 6       | 0        | 0        | 19      | 12      | 29      | 25      | 12      | 3.0   |
| 7       | 0        | 0        | 21      | 11      | 40      | 27      | 8       | 2.9   |
| 8       | 0        | 0        | 19      | 14      | 37      | 15      | 24      | 3.1   |
| 9       | 0        | 0        | 14      | 13      | 43      | 21      | 10      | 2.9   |
| 10      | 0        | 0        | 11      | 10      | 41      | 22      | 11      | 3.1   |
| 11      | 0        | 0        | 12      | 20      | 42      | 17      | 13      | 3.0   |
| 12      | 0        | 0        | 13      | 11      | 16      | 25      | 38      | 3.6   |
| 1       | 0        | 0        | 8       | 7       | 8       | 13      | 39      | 3.9   |
| 2       | 0        | 0        | 10      | 10      | 14      | 8       | 36      | 3.6   |
| 3       | 0        | 0        | 13      | 9       | 25      | 0       | 27      | 3.3   |
| 構成比率(%) | 0        | 0        | 15.2    | 11.8    | 30.2    | 20.9    | 21.9    | 3.2   |

### 3 高齢者在宅サービスセンター

#### (1) 重点事項への取組

##### ア 地域で暮らす高齢者への支援

平成30年度は、介護報酬の改定やサービスの適正化、重点化に伴い、改正内容や制度の考え方等を各部門の担当者から利用者へ丁寧な説明を心がけ、利用者のサービスの質が低下することのないように留意し、混乱をきたさないよう理解と同意の徹底に注力した。

また、各部門の地域情報や課題を全職員が共有し、各部門の業務効率性を高めつつ、その一方で、地域で暮らす高齢者一人ひとりの生活実態について時間をかけて把握し、安心して福祉・介護を活用できるよう各関係機関との連携に取り組むことができた。

##### イ 信頼性の向上とプラスワンの取組

当該部門においては、実態把握からサービスの計画、提供に至る業務を実施している強味を活用し、迅速な対応とともに、制度とサービスの狭間にある必要な援助や提案等を積極的に行った。

特に通所部門においては、当該サービスに係る前後の軽援助や安心のためのサービス（火元、鍵の施錠、ポスト確認等）、一時的な福祉用具の貸し出しなど、利用される方々の「安心」に繋がる取り組みを積極的に行った。

また、各部門が保有する課題解決に向け、制度改正に伴う管理者要件の厳格化や通所サービスの時間拡大、資格職の適正配置等、人材確保における事業体制の構築を図りつつ、各職員が安心してサービス提供に従事できるようチーム連携に努めた。

#### ウ 利用率の維持と収支の安定化

平成30年度の介護報酬改定において、通所部門では、サービス提供時間が一時間単位となったことから、収支の安定を図るため、サービス提供時間を拡大した。

これにより、通所介護（総合事業含む）では5,785時間を提供し、平成29年度比491時間増、認知症対応型通所介護では、2,996時間を確保し平成29年度比572時間増となった。

一方の利用率については、通所介護（総合事業含む）及び認知症対応型通所介護ともに経営目標値を達成できなかったものの、利用率の維持を図るため、平成30年度から送迎担当者を配置し、体験サービスの導入やサービス提供時間の変更、新規導入等、介護ニーズに迅速に対応することができ、新規導入では42人の利用者の受入を行った。

なお、居宅介護支援事業については、制度改正に伴い新たな職員を配置し事業運営の再構築に着手したものの、ケアプラン作成件数については、平成29年度比月平均5ポイント増（予防プラン含む）に止まる結果となり、引き続き健全な収支の実現に努めていくこととした。

#### エ 自立支援・重度化防止に対する取組（通所介護・総合事業）

平成30年度は、高齢者（利用者）個々の生活に必要な動作等の不安や疾患に伴う介護負担の緩和を図るため、医療職の訪問機会を設けるなど、利用者及び家族が在宅生活の不安解消につながるよう取り組んだ。

また、自立支援においては、これまでと同様に定期的なイベントの実施や継続性のある活動を提供するとともに、地域に発表する機会を設けるなど、利用者一人ひとりが意欲的に取り組めるように提供した。

なお、総合事業においては初の試みとして、営業日外活動によるバスハイクを実施し、通常顔を合わせる機会のない方々同士の交流の機会や外出準備を機とした職員による勉強会など新たな取り組みを実施し、利用者からも普段なかなか話すことができない女性特有の相談など、良い機会を得たと好評の声をいただくなど、高齢者の自発的行動に寄与する取り組みを行うことができた。

#### オ 認知症高齢者ケアの実践と家族支援の強化（認知症対応型通所介護）

平成30年度も、平成29年度同様に「自分でできることが、いつまでも自分でできるように」「外出する機会を変わらずに設けられるように」を目標

に、利用者年齢が最高齢者102歳から最年少者70歳と幅広い中、日常生活動作の維持・向上を目的としたプログラムの実施に努めた。

また、家族（介護者）も高齢化する中で、サービス担当者会議への積極的な参加や介護者、サービス提供事業者との日々の連携を通じ、在宅での課題や認知症に伴う周辺症状の影響など、解決に向けた家族支援とともに適切かつタイムリーなサービスの提供に注力した。

#### カ 地域包括ケアシステムの推進（地域包括支援センター）

平成30年度も引き続き、地域包括ケアシステムの一層の推進に尽力するため、中核を担う機関である地域包括支援センター機能の発信とともに、各関係機関が主催する会議等への積極的な参加を図り、医療・介護連携等、地域ネットワークの中心的な役割を担えるよう努めた。

また、地域包括支援センターが主催する地域ケア会議等においても、「地域で支え合える体制づくり」や課題の把握、発掘に取り組むことができた。

特に、八雲台地域では、高齢者が集う場所が少ないことなどもあり、調布市が推奨する十筋体操（十の筋力トレーニング）を活用し、地域が運営するサロンを立ち上げるなど、地域と協働した取り組みを実施することができた。

#### キ 福祉・介護における総合相談窓口機能の充実と推進（地域包括支援センター）

平成30年度についても、「地域の総合相談窓口としての機能」の充実を図るため、専門性の確保及び向上とともに、定期的な会議の場を設け、多職種間連携を強化した。

また、認知症高齢者等への支援相談及び医療相談等、多様化するニーズの実態把握と対応を適切に行い、より良質な支援に繋げることができた。

特に、地域包括支援センターのチーム内で情報を共有し、早期対応、早期発見を心がけ、迅速な対応を行ったことから大きなトラブルもなく、改めて連携と協働が地域に根付いてきていることを実感できた年度でもあった。

#### ク 質の向上及び公正中立なケアマネジメントの確保（居宅介護支援）

平成30年度においても、地域ケア会議への参加とともに、隣接する地域包括支援センターとの連携により、利用者が望む「その人らしい生活」の実現を図るためのケアプラン作成に注力した。

また、東京都が推奨するリアセスメントシートへの移行も終了し、一連のケアマネジメントプロセスの遵守とともに、定期的なケアマネ会議を開催し、新たに増配した職員が保有するケアマネジメントの課題等を共有しつつ、ケアマネジャーに位置づけられている一定のサービス量及び事業所の選定等、随時確認を行いながら、適正なケアマネジメントにより利用者の意思に基づいたケアプランの提供を図った。

## ケ 多様化する在宅ケアへの対応

平成30年度も、利用者本位のケアプランの作成に注力するため、日常的に地域包括支援センターや医療機関等と連携・協働を行い、医療と介護を切れ目なく提供することができた。

特に、医療機関との連携については、担当ケアマネの申告をしてもらっていたことにより、入退院等の連携がスムーズになったケースも多く見られた。

なお、平成29年度の課題でもあった独居高齢者の緊急時対応の在り方や事業所としての対応方法等においても個別事情を配慮するとともに軽微であっても利用者の行動を予測し、どの職員でも対応ができるように整備した。

## (2) 実績報告

### ア 通常規模型通所介護（総合事業を含む。）月別利用実績

平成30年度の年間利用率については84.1%となり、平成29年度比約0.3ポイント増となった。

また、平成30年度は通所介護利用者20人、総合事業利用者10人の計30人を導入し、平成29年度比10ポイント増となった。一方の終結者については通所介護利用者23人、総合事業利用者13人と例年になく多人数となり平成29年度比18ポイント増と入れ替わりの多い年度となった。

特に、平成30年度は、要支援者や軽度者の有料老人ホーム入所が9件と多く、介護サービスの利用動向が変化してきている。

(単位：人)

| 月    | 利用延人数 | 送迎利用数  | 利用日数(日) | 利用率(%) |
|------|-------|--------|---------|--------|
| 4    | 498   | 996    | 24      | 83.0   |
| 5    | 502   | 1004   | 24      | 83.7   |
| 6    | 559   | 1118   | 26      | 86.0   |
| 7    | 526   | 1052   | 25      | 84.2   |
| 8    | 536   | 1072   | 26      | 82.5   |
| 9    | 492   | 984    | 23      | 85.6   |
| 10   | 552   | 1104   | 26      | 84.9   |
| 11   | 502   | 1004   | 24      | 83.7   |
| 12   | 461   | 922    | 23      | 80.2   |
| 1    | 491   | 982    | 23      | 85.4   |
| 2    | 515   | 1030   | 23      | 89.6   |
| 3    | 504   | 1004   | 25      | 80.6   |
| 合計   | 6,138 | 12,272 | 292     | 84.1   |
| 1日平均 | 21.02 | 42.03  |         |        |

### イ 認知症対応型通所介護（介護予防認知症対応型通所介護を含む。）月別利用実績

平成30年度の年間利用率については70.2%であり、平成29年度比約1.7ポイント減となった。

利用者の動向としては、平成30年度の新規利用者10人と積極的に人数の増加を図ったものの、一方では終結者が15人おり、その理由としては施設入所5人、死亡5人、入院や自宅療養5人というものであり、利用率の上昇に反映しない現状が続いている。

また、年齢構成において、最年少が70歳、最高齢102歳と幅があり、90歳以上が全体の約55%占めるなど、一段と高年齢化が進んでいる現状となっている。

(単位：人)

| 月    | 利用延人数 | 送迎利用数 | 利用日数(日) | 利用率 (%) |
|------|-------|-------|---------|---------|
| 4    | 230   | 460   | 25      | 76.7    |
| 5    | 212   | 424   | 24      | 73.6    |
| 6    | 228   | 456   | 26      | 73.1    |
| 7    | 225   | 450   | 26      | 72.1    |
| 8    | 216   | 432   | 27      | 66.7    |
| 9    | 199   | 398   | 25      | 66.3    |
| 10   | 226   | 452   | 27      | 69.8    |
| 11   | 223   | 446   | 26      | 71.5    |
| 12   | 207   | 414   | 24      | 71.9    |
| 1    | 186   | 372   | 24      | 64.6    |
| 2    | 190   | 380   | 24      | 66.0    |
| 3    | 218   | 413   | 26      | 69.9    |
| 合計   | 2,560 | 5,097 | 304     | 70.2    |
| 1日平均 | 8.42  | 16.77 |         |         |

#### ウ 認知症対応型通所介護事業運営推進会議の開催

認知症対応型通所介護は、地域密着型サービスのため、厚生労働省令で運営推進会議の設置が平成28年度から義務付けられた。

これは、地域との連携や施設の適切な運営を実現し、関係者からの要望、助言等を聞く機会を保障するために設置するものである。

概ね6か月に1回の開催が求められ、平成30年度の開催状況は、下記のとおりである。

|     | 開催日      | 議 題  |
|-----|----------|--|
| 第1回 | 9月21日(木) | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度の事業運営について</li> <li>利用傾向及び利用者状況について</li> <li>平成30年度介護報酬改定後の特徴</li> </ul> |
| 第2回 | 3月7日(木)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度の事業運営について</li> <li>利用傾向及び利用者状況について</li> <li>活動報告について</li> </ul>         |

運営推進会議の構成員については、下表のとおりである。 (敬称省略)

| 氏名               | 選任区分                | 任期                       |
|------------------|---------------------|--------------------------|
| 多田 光 恵           | 地域住民代表              | 平成30年4月1日～<br>平成32年3月31日 |
| 片寄 あつみ<br>手塚 美加子 | 調布市地域包括支援センターゆうあい職員 |                          |
| 有本 キヨ子           | 地域有識者               |                          |

※ 利用者及び利用者家族についてはアンケートを実施し、意見等をいただいた。

エ 通常規模型通所介護（介護予防通所介護及び総合事業を含む。）

月別要介護度分布表

平成30年度の平均要介護度は約1.34となり、約0.04ポイント重度化した。

また、給付別延べ人数割合では、要介護者74.1%、要支援者25.9%で、総合事業対象者が約0.2ポイント増加した。

なお、平成30年度においても、要介護1及び2の利用者が約61.3%を占めており、この傾向は変わらない。

(単位：人)

| 月    | 要支援1  | 要支援2   | 要介護1   | 要介護2   | 要介護3  | 要介護4  | 要介護5  | 合計   |
|------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|------|
| 4    | 16    | 117    | 208    | 90     | 55    | 12    | 0     | 498  |
| 5    | 13    | 109    | 220    | 95     | 51    | 14    | 0     | 502  |
| 6    | 23    | 128    | 227    | 106    | 58    | 13    | 4     | 559  |
| 7    | 26    | 118    | 227    | 89     | 46    | 15    | 5     | 526  |
| 8    | 28    | 108    | 221    | 105    | 55    | 11    | 8     | 536  |
| 9    | 30    | 90     | 201    | 97     | 56    | 13    | 5     | 492  |
| 10   | 28    | 117    | 233    | 97     | 50    | 21    | 6     | 552  |
| 11   | 29    | 107    | 230    | 69     | 45    | 16    | 6     | 502  |
| 12   | 18    | 104    | 217    | 70     | 34    | 15    | 3     | 461  |
| 1    | 23    | 102    | 221    | 87     | 45    | 6     | 7     | 491  |
| 2    | 24    | 107    | 235    | 89     | 48    | 7     | 5     | 515  |
| 3    | 16    | 109    | 223    | 103    | 45    | 8     | 0     | 504  |
| 合計   | 274   | 1316   | 2663   | 1097   | 588   | 151   | 49    | 6138 |
| 比率   | 4.46% | 21.44% | 43.39% | 17.87% | 9.58% | 2.46% | 0.80% |      |
| 1日平均 | 0.94  | 4.51   | 9.12   | 3.76   | 2.01  | 0.52  | 0.17  | 21.0 |

オ 認知症対応型通所介護（介護予防認知症対応型通所介護を含む。）月別要介護度分布表  
平成30年度の平均要介護度は約2.72介護度であり、平成29年度比で約0.12ポイント重度化した。

重度化の背景については、認知症高齢者の高年齢化とともに、介護者における介護負担の増加に比例しつつあると推察する。

特に、両親とも要介護状態にある介護や、主介護者が要介護認定を受けているケースが徐々に増加している傾向も窺える。

（単位：人）

| 月    | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2  | 要介護3  | 要介護4 | 要介護5 | 合計   |
|------|------|------|------|-------|-------|------|------|------|
| 4    | 0    | 0    | 39   | 39    | 109   | 32   | 11   | 230  |
| 5    | 0    | 0    | 30   | 40    | 101   | 31   | 10   | 212  |
| 6    | 0    | 0    | 35   | 49    | 104   | 27   | 13   | 228  |
| 7    | 0    | 0    | 9    | 86    | 104   | 22   | 4    | 225  |
| 8    | 0    | 0    | 9    | 78    | 98    | 14   | 17   | 216  |
| 9    | 0    | 0    | 10   | 71    | 94    | 6    | 18   | 199  |
| 10   | 0    | 0    | 12   | 74    | 115   | 6    | 19   | 226  |
| 11   | 0    | 0    | 12   | 78    | 113   | 4    | 16   | 223  |
| 12   | 0    | 0    | 9    | 81    | 95    | 4    | 18   | 207  |
| 1    | 0    | 0    | 9    | 59    | 100   | 4    | 14   | 186  |
| 2    | 0    | 0    | 21   | 55    | 85    | 9    | 20   | 190  |
| 3    | 0    | 0    | 28   | 69    | 95    | 12   | 14   | 218  |
| 合計   | 0    | 0    | 223  | 779   | 1213  | 171  | 174  | 2560 |
| 比率   | 0.0% | 0.0% | 8.7% | 30.4% | 47.4% | 6.7% | 6.8% |      |
| 1日平均 | 0.00 | 0.00 | 0.73 | 2.56  | 3.99  | 0.56 | 0.57 | 8.42 |

#### カ 地域包括支援センター 区分別相談件数

相談件数は3,523件であり、平成29年度比で479件減となったが、平成29年度からの傾向として、数値化されない生活圏域内の気軽な相談等、「顔が見える関係性」が良好に働いた結果が減少の一因と考察する。

しかしながら、継続的な対応を必要とする相談内容は多く、特に権利擁護関係については、社会福祉士が欠員の中、職員間で情報を共有し適切な対応に注力した。

これにより、職員のソーシャルスキルの向上や的確な判断、対応ができたことで大きな混乱やトラブルの発生を防ぐことができた。

（単位：件）

| 区分 | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計   | 月平均   |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-------|
| 電話 | 154 | 150 | 181 | 165 | 150 | 167 | 177 | 154 | 167 | 179 | 136 | 141 | 1921 | 160.1 |

| 区分  | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計   | 月平均   |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-------|
| 来苑  | 28  | 15  | 16  | 16  | 13  | 13  | 13  | 7   | 9   | 8   | 16  | 11  | 165  | 13.8  |
| 訪問  | 107 | 100 | 126 | 121 | 108 | 124 | 138 | 99  | 122 | 109 | 98  | 128 | 1380 | 115.0 |
| その他 | 1   | 5   | 4   | 5   | 7   | 3   | 5   | 7   | 5   | 3   | 7   | 5   | 57   | 4.8   |
| 合計  | 290 | 270 | 327 | 307 | 278 | 307 | 333 | 267 | 303 | 299 | 257 | 285 | 3523 | 293.6 |

#### キ 地域包括支援センター 相談内容別件数

全体的な相談件数の減少はあるものの、相談内容別では、認知症相談のほか、高齢者に限らない問題を抱える家族の多様な相談が増加傾向にあった。

特に、認知症高齢者やその家族等からの相談件数は増えており、認知症推進員が配置されたことも一因となっている。

(単位：件)

| 区分               | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計   | 月平均   |
|------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-------|
| 保健医療             | 76  | 72  | 124 | 104 | 86  | 102 | 92  | 78  | 97  | 112 | 93  | 74  | 1110 | 92.5  |
| 介護保険             | 85  | 90  | 97  | 86  | 108 | 67  | 91  | 68  | 69  | 95  | 83  | 65  | 1004 | 83.7  |
| 予防給付             | 74  | 73  | 85  | 87  | 74  | 72  | 97  | 75  | 83  | 71  | 54  | 82  | 927  | 77.3  |
| 総合事業             | 60  | 45  | 64  | 56  | 61  | 68  | 74  | 58  | 74  | 53  | 49  | 76  | 738  | 61.5  |
| ケアマネ支援           | 14  | 12  | 12  | 2   | 13  | 10  | 9   | 18  | 10  | 7   | 7   | 7   | 121  | 10.1  |
| 介護相談             | 3   | 1   | 1   | 0   | 3   | 2   | 0   | 0   | 1   | 0   | 2   | 0   | 13   | 1.1   |
| 認知症相談            | 16  | 14  | 18  | 12  | 9   | 17  | 16  | 10  | 6   | 15  | 14  | 17  | 164  | 13.7  |
| 経済・住宅問題          | 10  | 6   | 9   | 13  | 6   | 7   | 10  | 8   | 7   | 8   | 4   | 4   | 92   | 7.7   |
| 家族問題             | 2   | 1   | 8   | 3   | 4   | 7   | 3   | 5   | 3   | 3   | 5   | 1   | 45   | 3.8   |
| 権利擁護<br>(成年後見)   | 5   | 2   | 0   | 1   | 0   | 4   | 1   | 1   | 1   | 0   | 2   | 5   | 22   | 1.8   |
| 権利擁護<br>(地権・その他) | 1   | 1   | 0   | 3   | 0   | 1   | 2   | 2   | 0   | 0   | 1   | 1   | 12   | 1.0   |
| その他              | 59  | 65  | 55  | 50  | 58  | 68  | 56  | 57  | 75  | 41  | 45  | 54  | 683  | 56.9  |
| 合計               | 405 | 382 | 473 | 417 | 422 | 425 | 451 | 380 | 426 | 405 | 359 | 386 | 4931 | 410.9 |

#### ク 地域包括支援センター 調布市一般施策相談件数

調布市一般施策における相談においては、おむつの給付・助成が大幅に減少した。これについては、対象者が原則要介護3以上となったことが一因と考えられるも、全体的にサービスが行き届いてきていると考察できる。

(単位：件)

| 区分        | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  | 月平均  |
|-----------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|------|
| 配食サービス    | 5  | 0  | 0  | 0  | 0  | 2  | 1   | 2   | 1   | 0  | 0  | 6  | 17  | 1.4  |
| 日常生活用具    | 2  | 0  | 5  | 0  | 1  | 1  | 1   | 0   | 1   | 0  | 4  | 0  | 15  | 1.3  |
| おむつの給付・助成 | 7  | 6  | 3  | 2  | 15 | 8  | 6   | 2   | 0   | 9  | 17 | 6  | 81  | 6.8  |
| 緊急通報システム  | 9  | 7  | 4  | 7  | 2  | 0  | 2   | 2   | 5   | 6  | 3  | 2  | 49  | 4.1  |
| 徘徊探知器     | 1  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 2   | 0.2  |
| その他       | 1  | 3  | 8  | 4  | 2  | 2  | 2   | 2   | 3   | 1  | 4  | 2  | 34  | 2.8  |
| 合計        | 25 | 17 | 20 | 13 | 20 | 13 | 12  | 8   | 10  | 16 | 28 | 16 | 198 | 16.5 |

#### ケ 地域包括支援センター 実態把握件数

実態把握調査の内容傾向は、平成29年度に引き続き安否確認や同一内容の繰り返しによる訪問、認知症状に伴うケースが主であった。

また、平成29年度と比較し実態把握件数は115件減となったものの、職員一人当たりの訪問件数は微増した。

(単位：件)

|      | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  | 月平均  |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|------|
| 実態把握 | 65 | 50 | 60 | 54 | 54 | 58 | 54  | 50  | 50  | 63 | 32 | 55 | 645 | 53.8 |

#### コ 地域包括支援センター 見守りネットワーク連絡件数

平成30年度は、平成29年度比5件増となった。

平成30年度から、民生児童委員及び広報協力員やみまもりさん、近隣住民、商店からの通報も多く、幅広くみまもつと事業が浸透していることが伺える。

また、警察や消防、医療機関などからの通報で、迅速な対応を求められるケースも増加している。

(単位：件)

|    | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 月平均 |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|-----|
| 通報 | 3  | 9  | 5  | 6  | 3  | 5  | 4   | 3   | 3   | 1  | 2  | 2  | 46 | 3.8 |

#### サ 地域包括支援センター 予防プラン作成数

介護予防支援及び介護予防マネジメント（調布市介護予防・日常生活総合事業）と合わせ、プラン作成件数は平成29年度と比較しほぼ横ばいであったものの、職員一人当たりが担当するプラン作成件数は増加した。

また、平成30年度の傾向としては、要介護状態になるケースが多く、新規ケースは65件となった。

介護予防支援費

(単位：件)

|      | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  | 月平均  |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|------|
| 直接作成 | 46 | 45 | 49 | 49 | 51 | 55 | 58  | 58  | 56  | 55 | 54 | 55 | 631 | 52.6 |
| 委託作成 | 10 | 10 | 11 | 10 | 10 | 10 | 10  | 11  | 10  | 11 | 13 | 11 | 127 | 10.6 |
| 合計   | 56 | 55 | 60 | 59 | 61 | 65 | 68  | 69  | 66  | 66 | 67 | 66 | 758 | 63.2 |

(委託率19%)

介護予防マネジメント費（事業対象者を含む。）

(単位：件)

|      | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  | 月平均  |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|------|
| 直接作成 | 62 | 59 | 58 | 59 | 62 | 58 | 63  | 62  | 62  | 64 | 59 | 59 | 727 | 60.6 |
| 委託作成 | 15 | 18 | 16 | 19 | 19 | 18 | 19  | 20  | 20  | 18 | 16 | 18 | 216 | 18.0 |
| 合計   | 77 | 77 | 74 | 78 | 81 | 76 | 82  | 82  | 82  | 82 | 75 | 77 | 943 | 78.6 |

(委託率30%)

シ 居宅介護支援事業所のケアプラン(介護予防サービス計画含む。)作成件数  
平成30年度のケアプラン作成件数は、525件と平成29年度比60件増となった。

特に平成30年度は、制度改正により管理者要件の厳格化が図られたことで、事業運営の将来性を視野に入れて、新たな職員の配置を行うなどの取り組みを行った。

(単位：件)

|       | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  | 月平均  |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|------|
| 国保連請求 | 43 | 38 | 46 | 45 | 46 | 45 | 44  | 41  | 39  | 44 | 44 | 50 | 525 | 43.8 |
| 請求外相談 | 1  | 2  | 1  | 2  | 1  | 3  | 1   | 3   | 4   | 4  | 2  | 3  | 27  | 2.3  |
| 合計    | 44 | 40 | 47 | 47 | 47 | 48 | 45  | 44  | 43  | 48 | 46 | 53 | 552 | 46.0 |

※ 請求外相談とは、新規や入院等で介護請求が発生しなかったケース。

ス 居宅介護支援事業所の要介護認定及び要支援認定調査件数

平成30年度についても調査員が一人体制のため、大幅な増加には至らなかったが、7件の認定調査を行った。

(単位：件)

|      | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 月平均 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|-----|
| 認定調査 | 0  | 1  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0   | 1   | 1   | 1  | 1  | 1  | 7  | 0.6 |